						1				1		
科目区分・分類		一般・	·講義			対象学	科名・学	₽年 村	幾械4年	科目コード	47011271	
科目名		コミ	ュニケ	ーショ	ョン論	Commi	unicat	ion	Theory			
担当教員 小林 淳												
単位数(時間数) 選必 後期 1単位 (30時			間)	学習・	教育	目標との対応						
	授業の 目的と概要	「誰かのため」に技術者は創ければ求めるコト・モノは創き,精確に理解する双方向性か互いに相手への敬意が払われとされる.こうしたコミュニク				削られな が求め。 1 ,連携	い.自分 られる.: 劦働する	の考 チー <i>L</i> 素養	えを論理明晰に 4の仕事は,チー も必要だ.コミ	こ伝え ,相手の −ム内の信頼 ュニケーショ	D言う内容を聴 関係が築かれ, ョン能力が必要	
	先修科目	現代社会										
後修科目												
	備考	グループ演習が多いので欠席,遅刻は他履修者に迷惑をかけるため厳禁とする. 毎回の授業出席が重要.学んだことを日常でも意識して活用実践することが望まれる.										
			美項目			時間]容		
1	科目ガイダンス	. =	ミュニ	ケーシ	ョンとは	2			書の説明・質疑 ァーションの基▽	本的な考え方	を学ぶ	
2	自己のコミュニケ	ケーシ	ョンにつ	いての	チェック	2	コミュ	ニケ	ションの種相。 ニケーションチ	とチェックシ		
3	傾聴技法 A	ctive	Listen	ing		4	・傾聴の	とは	その重要性	<u> </u>		
4	質問技法					4			浅(演習) 目の理解			
4	貝问权/太					4			ロの垤畔 と・開かれた質[間		
5	沈黙の活用					2			支(演習) 意味			
沈黙による自己ならびに相手の内面を量る 後期中間試験									ර			
6	中間試験ふりか			いめ レープワ	リーク	2	・「新	聞ジク	Dふりかえり ブソー」と「レ・ コンセンサスを!		リング」:グル	
7	アサーショント	-レイ:	ニーグ			6	・ABC理 ・アサ・	‼論に ーティ	ついて 受信と イブネス DESC 食べたかったの	:処理と送信榜 法		
8	SST					6	・認知? ・SSTに	行動療	g S法とSST(社会 て視聴覚教材か (演習)	生活技能訓練		
9	総合演習 ま	t とめ				2	グルー	プワ-	-ク「かぐやひo	めを捜せ」課	題解決発表とシ	
		学纪	年末試験	ì			ェアリ	J.J				
10		- 7 -	· ~ (\) (1/4) (1/4)	`								
11												
12 13												
14 15												
16												
17												
18 19												
20												
21												
22 23												
24												
25 26												
27												
28 29												

30	
達成するために身	コミュニケーションモデルの理解,傾聴・質問技法の体験を通して聴く事,伝えることの 大切さがわかる.グループワークから仲間意識を高めることができ,技術者がチームを組ん で仕事をする上での重要なスキル獲得等を学習・教育目標のA-1の達成とする.
成績評価	2回の定期試験の成績(50%)と授業への取り組む姿勢(30%),授業出席(20%)との100点 満点で,合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする.
教材	・教科書,補助教材:未定 選定でき次第知らせる. ・プリントを配布する
オフィスアワー	質問などがある場合は,授業の前後に対応します。